

令和 8 年度 第 2 回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 令和 8 年 7 月 1 4 日（火）午後 2 時から午後 3 時まで
- 2 会 場 中央図書館 2 階会議室
- 3 出席者 委 員：落合会長、伊藤副会長、阿部委員、石井委員、平向委員、堀内委員、渡辺委員、
内田委員、宮原委員、栗林委員、神子委員 計 11 名（欠席 1 名）
事務局：松本中央図書館長、吉崎（中央図書館長補佐兼庶務担当係長）、大竹（小川西
町図書館長）、菅家（中央図書館サービス担当係長）、田中（中央図書館資料担
当係長）、小山（仲町図書館長） 計 6 名
- 4 傍 聴 なし
- 5 配付資料
 - ・小平市立図書館職員の異動について（資料No. 1）
 - ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定（資料No. 2）
 - ・令和 7 年度小平市立図書館事業統計について（資料No. 3）
- 6 職員の人事異動
資料No. 1 のとおり
- 7 議事
(1) 報告事項
 - ① 図書館運営状況について
 - ・ 図書館行事等の報告と今後の予定について（資料No. 2）
 - ・ 司書講習への職員の派遣について
 - ② 令和 7 年度小平市立図書館事業統計について（資料No. 3）
 - ③ 市議会 6 月定例会について

報告事項についての意見・質疑応答

委 員：図書館として事業統計をどのように分析しているのか。

事 務 局：令和 7 年度はシステム入替えのため 2 週間の全館休館があった。貸出冊数はこれを勘案すると、令和 6 年度との実質的な変化は無かったと捉えている。購入・蔵書冊数については、小川西町図書館の移転準備のため蔵書を減らしているのもその傾向が出ている。全体としては蔵書の新鮮度を上げるなど、これまでと同様に取り組んでいる。

委 員：廃棄図書が増減はどのような傾向であるか。

事 務 局：小川西町図書館は新館に合わせた準備で整理を進めている。その他の館ではこれまでと同

程度である。

委員：各学校図書館の予算は生徒数で決まるが、数年経過すると差が大きい。公立図書館はどのように館ごとの予算を配分しているのか知りたい。

事務局：小平市では一つの館に冊数の規定は無い。図書館総枠の予算を例年と同等ベースで振り分けている。市の全体予算の削減などがあれば、図書購入以外にも含めて影響がある。

委員：学校と同様にそれぞれの館で差が出ることにしないか、集客数等に応じた配分はあるか。

事務局：市全体の中で政策的に予算が配分されることもあるが、集客や職員の尽力等に応じた配分は特段無い。集中と選択等のメリハリのある予算配分は課題として捉えている。

委員：小平市では購入本を図書館共有として、柔軟に上手く対応している。学校の場合は相互の対応が難しい。物価上昇に対して、予算増とならない現状は厳しい印象である。小川西町図書館の新館に対して、特別な図書費の配分はあるか。

事務局：令和8年度は小川西町図書館の予算に、1,900万円程度の図書費が計上されている。

委員：小川西町図書館の新館では、中高生などの若い利用が増えると見込まれる。新しい本を選書する際に意識していることはあるか。

事務局：新館は滞在型で座席が多い。ティーンズでは人気のシリーズを充実させたいと考えている。

委員：団体貸出について、令和6年度から7年度で何校か学級文庫を止めている。理由等を認識しているか。

事務局：保護者等からの寄贈や、図書館が除籍した本を活用していると聞いている。また、古い内容の本や、劣化したものが気になるようである。

委員：電子図書に関してはこの統計に記載しないのか。

事務局：9月に発行する事業概要には載せる。

事務局：電子図書について数値を取れているのは閲覧数のみである。この統計では細かい部分まで網羅しているため、載せ方を検討したい。

会長：事業統計に含むべきと考えるので検討して欲しい。以前の協議会で、統計にグラフ等を挿入し長年の動向が見えるようにして欲しいと意見があったが、検討しているか。

事務局：現行では詳細な数値を載せている。項目の必要性を整理したいので皆様のご意見を伺い反映したいと考えている。

委員：統計概要、所蔵資料数や購入冊数のページは欲しい部分であり、10年の経過を見たい。そのようなデータは、必要に応じて協議会へ提示すれば良いのではないか。

事務局：事業統計は今まで通りとする。本協議会の資料はグラフ等を挿入し、別に示す方法としたい。項目についてはご意見をいただきたい。

会長：購入冊数、利用者数等は欲しいところである。皆様のご意見があれば館長へ伝えて欲しい。

委員：事業統計に電子書籍が入らないのは違和感があり検討して欲しい。資料25ページの予算部分に電子書籍の購入費用は入っているのか。

事務局：ここには入っていない。この部分は紙ベースの書籍購入予算であり、電子書籍分は別に予

算がある。

委員：記載の図書購入費は大きく変わっていないので、電子書籍分を合わせると増えたことになる。電子書籍分の予算はどの程度か。

事務局：キノデンで昨年度が 500 万円～600 万円、今年度が 300 万円程度で今後も同程度の継続を考えている。

会長：電子の蔵書冊数のうち、閲覧に供する数と、閲覧数はどの程度か。

事務局：コンテンツ数は約 1,060 点であり、新聞雑誌も合わせて約 24,000 件である。

会長：各コンテンツに対してアクセス数が不明では、除籍などの判断材料が無いのではないか。

事務局：キノデンとして各コンテンツのアクセス数は表示されているが、小平市立図書館利用者のアクセス数を把握できるかについては確認する。また、小平市の導入した電子書籍は買取であるため、除籍してしまうと閲覧が不可能になる。コンテンツが増えることのデメリットもあるので、今後、運用しながら検討する。

会長：小川西町図書館の状況について説明して欲しい

事務局：指定管理者の職員が選書会議に参加や、業務の引継ぎなどを行っている。利用者には、チラシやカウンターで 8 月末の閉館や、11 月に新館の開館、予約本の受取館変更などをお知らせしている。8 月中旬頃からは蔵書に IC タグを取付ける作業に入る。9 月中旬から 10 月上旬までに蔵書の移動作業を予定している。引継ぎに関しては、IC タグの取扱いがあることから仲町図書館で研修等を行う調整をしている。利用者からは期待の声と、今の雰囲気好むといった意見も聞いている。

事務局：子ども文庫では、小川西町図書館の子どもコーナーで、「ひまわり」と一緒にボードを飾っている。今月末までなのでご覧いただきたい。指定管理者が今後おはなし会をすることもあり、7 月 22 日に顔合わせをする予定である。

(2) 協議事項

なし

(3) その他

なし

(次回、令和 8 年 9 月 24 日 (木) 午後 2 時から開催予定)